

コットンの種差し上げま〜す！

前回発行の会報で「お帰りのさいコットンちゃん」で全国から本会宛にコットンが送られてきている状況を掲載しましたが、その後もどんどん送られてきています。

そこで今回はコットンの花が咲き誇る状況をマップ上に紹介します。北は岩手県盛岡市、南は鹿児島県と60人以上の方々から封筒やダンボール箱など様々な形で喜びの声の手紙を添えて送られてきています。また最近全国様々な地域から「種を送ってほしい」という声が届いています。コットンの種は5月～6月が蒔く時期ですが、種まきに挑戦してみたい方は急ぎ事務局に申込みください。



学校でコットン栽培スタート

ふくしまオーガニックコットンプロジェクトでは、コットン栽培の楽しさを地域の子供たちにも味わってもらおうと学校での栽培の呼びかけを行っています。昨年度は、それに応え、小学校8校、中学校2校、高等学校1校で約700名の児童生徒が栽培にかかわり、収穫された綿を使ってコットンパイプづくり教室なども開催されました。

子供たちにとって日頃なじみのあるTシャツなどの綿製品がどんな過程を経て生まれるものなのかを学ぶ産業教育と、農薬や化成肥料を使わない環境に配慮した農業について学ぶ環境教育の面を併せ持ちます。また、栽培の成果としてコットン新聞の編集に各児童がチャレンジした学校もあり、もっと多くの学びを引き出すことができそうです。

今年の栽培参加校をただいま募集中です。昨年の栽培をとして改訂したコットン栽培の手引きも提供させていただきます。コットン栽培の輪をご一緒に広げませんか？

仕事づくり進んでいます！

昨年、仮設のお母さんや障がい者施設の皆さんが作ったコットンパイプの「キャップちゃん」や「ねんねちゃん」は約1万個が全国に販売されました。今年も沢山のコットンパイプが作られ全国に飛び立つ日を持っています。

ところで今年に入って東京の企業からコットンをベースにした製品づくりの注文が相次いでいます。その一つは20センチ程の花束の内のコットンボールというパーツ作りです。材料はコットンを収穫したあとの「ガク」と22号の細い針金と針金を包む白色のテープです。ガクにボール状に綿を付けていくという作業ですが、月約2000本近い注文に応えるために、分散して仕事をさせていただくことにしました。

この他コットンの風合いを生かした製品づくりの提案や相談が相次いでいます。これから先「生き甲斐を感じながら取り組める仕事」をどんどん提案していきたいと考えています。市内の「なないろクレヨン」ではデイ



ケアに通っている方々が取り組んで下さっていますし、「いわき若者サポートステーションすだち」では若者自立総合支援事業のジョブトレーニングの一貫として取り入れて下さっています。新しい作品づくりに向けたアイデアや提案等がありましたら、是非ご一報下さい。

26年度定期総会 開催のお知らせ

- 日時 6月20日(金) 午前10時開催
- 会場 中央台高久2丁目26-4
NPO法人みんぷく(研修施設)
終了後午後1時から講演会を開催します
- 演題 災害と防災について
- 講師 赤池孝行氏

新年度のスタートにあたり会費の納入をお願いいたします。

会費：活動会費(実際に活動に参加される方と、会報の講読という形で支援して下さる方)..... 2,000円/年
賛助会員(資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員) 10,000円/年
郵便振替(02110-0-24908)でお送りください。

九州看護福祉大学生研修来所

九州看護福祉大学生一行12名が3月9日～13日まで来所しました。

初日は平中央公園で開催された「3.11をしのぶ希望のあかり」のキャンドルナイトに参加し祈りを捧げました。2日目は勿来海岸で行われた「勿来アートフェスティバル」に参加し海辺でのアート作成に参加地元の子供たちとの交流を楽しみました。3日目の被災地視察では、地震と津波被害が手つかずの状態が残る常磐線富岡駅前に案内。福島第一原発の事故で全市民が脱出してゴーストタウンと化した状況に声も出せずに立ち尽くす姿がありました。「映像では見てはいたけど、現実を見て考えさせられました」と皆さん異口同音に話しショックが大きかった様子。4日目は仮設住宅の方々との交流。榎葉町林城仮設住宅の方々を迎えオーガニックコットンで作るパイプづくりと薬草湯を使っての足湯とタッチングケアを通じた交流や、富岡町の平交流サロンを見に来場された方々との交流を行いました。最終日は勿来授産所に通所しているメンバーの皆さんと交流。大ホールで踊りと歌で歓待を受け大変な盛り上がりでした。職員の方々から



震災時の取り組みや現状などを伺い、また小名浜包括支援センターで事業者の立場で震災後判明した問題点等について真剣に話を聞いていました。

5日間の研修を終え、帰省後直ぐ「一つ一つの研修が貴重なものばかりでした。学んだこと全て無駄にしないよう生かしていきます」といった全員の決意文や感動の声が寄せられました。

常磐(湯本)地区での交流サロンを月2回開催中

小名浜地区交流サロンで開催中の「相双地域交流サロン」は毎回好評で参加数も伸び続けています。その中で小名浜の地区までは行きたくても遠い、もっと別の地区(自分達の住む地区)での開催を希望するとの意見が上がった為、当団体は「福島県いわき地方振興局」「福島県相双保健福祉事務所」の協力を得て、出張サロンと言った形で「常磐地区・相双地域交流サロン」を昨年より開催しています。会場は常磐地区でも親しみのある建物、古滝屋(旅館)の1Fロビーで、毎月第2・4火曜日の午後1時半～3時まで。

避難されて来た方々にはこういった少しでも集まれる場所やイベント提供は心の支えの1つなのでしょう。震災3年を過ぎ必要度が増えています。相双地域以外の地元の方々(いわき市民)も参加可能ですので是非ともご参加ください。



26年度フリーマーケット及び有用資源の回収がスタートしました

毎年4月～11月までの9ヵ月間いわき市小名浜大原のヨークタウンアクロスプラザの駐車場で本会主催のフリーマーケットを開催していますが、今年第1回目を4月27日(第4日曜日)に開催しました。40店舗が出店。風のない穏やかなフリーマーケット日和。9時には開会を待ちきれない沢山の来場者が来場し終日盛り上がりしていました。

山野草のコーナーでは様々な花の中でも可憐なスマレヤイカリ草等が人気の的。クワガタ虫やかぶと虫の幼虫などの珍しい出店もありました。またバザー開催に併せて会場横で榎高良さんのご協力を頂き有用資源の回収もスタートしました。鍋、セトモノ、毛布、靴、帽子、カバン等回収しますのでご活用下さい。

尚、今後の開催日は5月25日 6月22日 7月27日 8月24日 9月28日 10月26日 11月23日(第4日曜日)

お知らせコーナー

上荒川ヨークベニマルの店頭で開催してきた「ついたちバザー」が店舗改装に伴い4月1日のバザーを以て終了いたしました。

長い間ご愛顧頂きまして有難うございました。また常設のリサイクルボックスも撤去となりましたので、今後古着を提供して下さる場合は、いわき市役所本庁舎の市民駐車場のボックスをご利用ください。

最近リサイクルボックス設置箇所についての問い合わせが増えておりますので改めてご紹介します。近くのボックスをご利用ください。なお繊維製品であれば使い古しのタオルやシーツ、下着等もリサイクルできますのでご提供ください。(洗濯してあれば少しの破れやシミが有っても大丈夫です)

- | | | | |
|--------|------------------------------|-------|---------------|
| ★平地区 | 市役所本庁舎駐車場
中央台入口関影ガソリンスタンド | ★四倉地区 | ダイユーエイト四倉店 |
| | ダイユーエイト城東店 | ★好間地区 | ダイユーエイト好間店 |
| ★小名浜地区 | 小名浜支所
労働金庫小名浜支店 | ★内郷地区 | 内郷公民館 |
| | ヨークタウンアクロスプラザ大原店 | ★常磐地区 | 常磐支所
藤原公民館 |
| | 泉公民館 | ★遠野地区 | 遠野支所 |
| | 泉ヶ丘自治会集会所 | ★川前地区 | 川前公民館 |
| | クリンピーの家 | | |